

県政を
身近に

あらい絹世の
磯っ子レポート
www.araikinuyo.jp

◎編集:新井絹世
横浜市磯子区丸山 2-24-3
◎電話:045-751-5250
◎FAX:045-761-7451

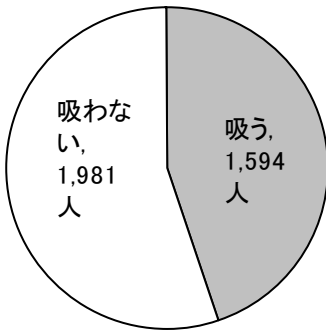
海水浴場たばこ対策についてのアンケート結果

神奈川県では、5月に神奈川の海水浴場では喫煙場所以外では喫煙してはいけないという内容を盛り込んだ「神奈川県海水浴場等に関する条例」を施行し、この夏初めて県内の海水浴場で適用されました。神奈川県では海水浴場利用者・海の家事業者・ライフセーバーを対象に新たな条例についてアンケートを実施し、その結果が9月に発表されました。

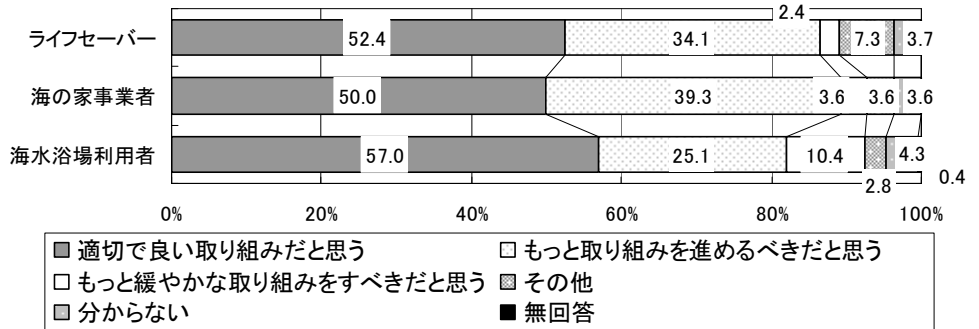
概要

- 県内の海水浴場では、喫煙場所以外では喫煙してはいけません。
- 海の家などの建物には適用されません。
(ただし、「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」が適用される場合があります。)
- 海水浴場の設置者は、海水浴場内に喫煙場所を設けることができます。

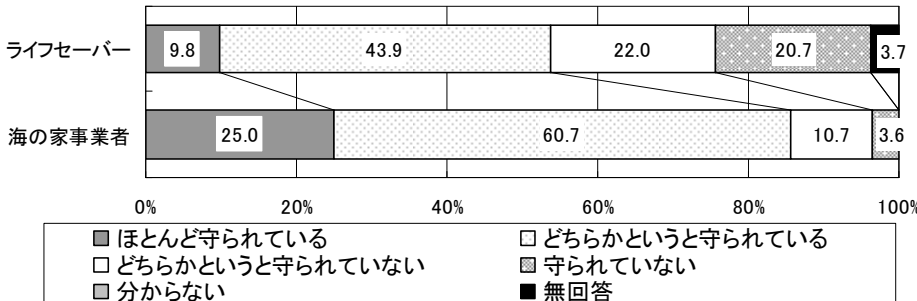
【質問1】喫煙の有無



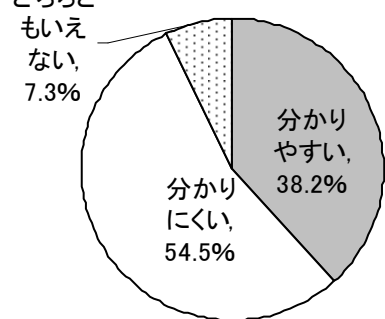
【質問2】新たなルールについての考え



【質問3】新たなルールの遵守状況



【質問4】喫煙場所の目印



(四表とも神奈川県 HP 参照)

あらい絹世プロフィール



- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中 / 高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株) / (株)メタルワン
- 現在、あらい敏二郎県議会議員秘書
- ホノルルマラソン / 東京マラソン 完走
- 自民党かながわ政治大学12期生

食について あらい絹世はこう考えます



先日、姪と稲刈りをしてきました。幼い頃ご飯を残すと『お米は八十八の手間が掛かっているのだから残さず食べなさい』と言われました。実際に田植えや稲刈りを体験し、米作りの大変さとお米一粒の大切さを感じました。農業体験をする・釣った魚を調理するなど体験すると自分達が物を食べる事は他の命を貰っている、と言う事に気がきます。実体験で食べ物の命を大切にすることを学ぶのではないのでしょうか？普段何気なく使っている『いただきます』『ごちそうさま』。私達は自然の恵み・

動植物の命を貰い生きています。『いただきます』は「私の命のために動植物の命を頂きます」という意味で、多くの命を犠牲にして生きていること、偉大な自然への感謝の気持ちを表したものです。馳走（ちそう）は走り回るという意味で、『ごちそうさま』は色々な所を駆け回って大変な思いをしながら美味しい料理を作ってくれた人に深い感謝の気持ちを表した言葉です。しかし、日本では年間約 1900 万トンの食品廃棄物が出ています。その内、まだ食べられるのに捨てられてしまうものが 500 万から 900 万トンもあるといわれています。日本は食料の多くを海外からの輸入に頼っていますが、大量の食料を捨てています。農林水産省ではまだ食べられるにもかかわらず廃棄されてしまう食品を削減するため、規格外品や賞味期限が間近となった食品を企業から寄付してもらい福祉施設などに無償提供する「フードバンク」と呼ばれるボランティア活動を有効に活用することも考えています。神奈川県でも市民・企業と共にフードバンクの活動に協力する仕組みづくりが必要ではないでしょうか。

日本の食料自給率は 40%です。食品・食材の無駄を無くすことは、食料自給率を上げることと共に安定した食生活を送るには必要です。

日本には「もったいない」という素敵な言葉があります。地球の恵みを無駄にするもったいないことをせず、もったいない食品廃棄物を減らしていきましょう。



次回の お題は 「台風」

貴方の川柳を次号「あらい絹世の磯っ子レポート」に掲載します。
・匿名、イニシャルで結構です。
・お住まいの町名、差し支えなければお名前をお書き下さい。
・お申し込みはFAXで（締め切りは10月27日です）
・残念ながら賞金・賞品の提供はございません。

時節の川柳大募集

先月のお題は「月」
沢山のご投稿有り難う
ございます

秋の月
優し
猫の恋
照らす
(Kさん)

私を食べ過ぎ
顔も
満月よ
(Mさん)

秋の夜
月も丸だ
まん丸だ
(シンさん)

恒人は
月久人
夢であれ
(ひと)
(Kさん)